

羽衣国際大学 インターンシップ 実習概要

授業の一環として学生が企業や団体・学校などの職場で実際の仕事を体験します。

単なる就業体験にとどまらないよう、事前教育で準備を徹底し、事後教育で自己の課題を見つめなおすことを大切にしています。

●事前教育

企業での実習に先立ち、事前教育として 15 回の授業による正科目「インターンシップ論」を受講することで企業社会を理解し、業界や実習先の研究、ビジネスマナーなどを修得します。

※インターンシップ実習参加者は、全員「インターンシップ論」の単位取得者です。

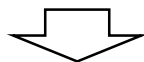


●インターンシップ実習

インターンシップⅠ（1単位） 5日間の就業体験

インターンシップⅡ（2単位） 10日間の就業体験

インターンシップⅢ（4単位） 20日間の就業体験



●事後教育

実習成果をレポートにまとめ、担当教員との評価面接を行い、インターンシップでの体験をフィードバックします。実習で得た気づきや問題意識を今後の研究や学修に活かしていきます。

※実習先の指導担当者様に、項目ごとの評価を行っていただきます。

■実習日数により実習の単位が異なります。最低でも5日間の実習をお願いいたします。

■インターンシップ実習は基本的に交通費も含め無報酬です。

■学年、学科を問わず学生を募集しますので、特定の学年や学科等受入条件がある場合は、その旨「受入確認票」に、明記をお願いいたします。

■1日当りの実習時間は、5時間程度から8時間まででお願いいたします。

■アルバイトではなく大学の授業の一環として行っております。23時までには帰宅させるようお願いいたします。

■実習後にご記入いただく評価票の点数と大学教員の評価を合算して、秀、優、良、可、不可の成績判定を行います。

<インターンシップ実習の流れ>



受入企業・団体の一覧表を学生へ配付し参加者を募集

大学内でマッチング作業

学生がエントリーシートを作成

担当教員とキャリアセンター職員で学生の個別面接実施

面接結果により実習可と判断された学生の書類を実習先に送付

学生より実習先へご連絡（電話またはメール）

学生が面接、または事前打ち合わせの為に実習先を訪問

実習開始（実習初日に誓約書、実習中は毎日「実習記録日誌を実習先に提出）

実習終了（実習終了後、学生より実習先にレポート提出）

実習先より成績評価票を送付いただく

担当教員と学生が事後面接を実施

成績評価

実施要項につきまして、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

羽衣国際大学 キャリアセンター
TEL. 072-265-7400
メール career@hagoromo.ac.jp